Zuは、型基線から考慮される区画室の最も高い点までの垂直距離とし、メートルで表す。

Zuが Dsよりも大きいときは、Zuは Dsとする。

yは、考慮される区画室と側面外板との間の中央線と直角に計測した最小の水平距離とし、メートルで表す。（注1）

ビルジ部については、yは、hが、$\frac{B}{10}$メートル、三メートル又はタンクの上部までの高さのいずれかより低いときは、基線の上方の距離hの下方については、考慮する必要はない。

.3　船側損傷についての可能性の表

X_a/L	P_{Sa}	X_f/L	P_{Sf}	Z_i/D_s	P_{Si}	Z_u/D_s
0.00	0.000	0.00	0.967	0.00	0.000	0.00
0.05	0.023	0.05	0.917	0.05	0.000	0.05
0.10	0.068	0.10	0.867	0.10	0.001	0.10
0.15	0.117	0.15	0.817	0.15	0.003	0.15
0.20	0.167	0.20	0.767	0.20	0.007	0.20
0.25	0.217	0.25	0.717	0.25	0.013	0.25
0.30	0.267	0.30	0.667	0.30	0.021	0.30
0.35	0.317	0.35	0.617	0.35	0.034	0.35
0.40	0.367	0.40	0.567	0.40	0.055	0.40
0.45	0.417	0.45	0.517	0.45	0.085	0.45
0.50	0.467	0.50	0.467	0.50	0.123	0.50
0.55	0.517	0.55	0.417	0.55	0.172	0.55
0.60	0.567	0.60	0.367	0.60	0.226	0.60
0.65	0.617	0.65	0.317	0.65	0.285	0.65
0.70	0.667	0.70	0.267	0.70	0.347	0.70
0.75	0.717	0.75	0.217	0.75	0.413	0.75
0.80	0.767	0.80	0.167	0.80	0.482	0.80
0.85	0.817	0.85	0.117	0.85	0.553	0.85
0.90	0.867	0.90	0.068	0.90	0.626	0.90
0.95	0.917	0.95	0.023	0.95	0.700	0.95
1.00	0.967	1.00	0.000	1.00	0.775	1.00

（注1）　対称のタンクの配置については、損傷は、船舶の片側のみについて考慮する。この場合において、すべてのyの単位は、当該片側から測定する。対称でない配置については、決議MEPC一二二（五二）によつて国際海事機関が採択した事故による仮想流出量に関連する注釈を参照するものとする。

PSyは、次のとおり計算する。

$\frac{y}{BS}$が〇・〇五以下の場合には、

PSy＝（24.96－199.6y/BS）（y/BS）

$\frac{y}{BS}$が〇・〇五を超えるが〇・一未満の場合には、

PSy＝0.749＋｛5－44.4（y/BS－0.05）｝｛（y/BS）－0.05｝

$\frac{y}{BS}$が〇・一以上の場合には、

PSy＝0.888＋0.56（y/BS－0.1）

PSyは、一を超えてはならない。

.7　船底損傷から区画室が破られる可能性PBは、次のとおり計算する。

.1　PB＝PBL．PBT．PBV

この場合において、

PBL＝1－PBf－PBaは、損傷がXa及びXfによつて閉囲される縦通区域に達する可能性をいう。

PBT＝1－PBp－PBsは、損傷がYp及びYsによつて閉囲される横置区域に達する可能性をいう。

PBV＝1－PBzは、損傷がzによつて定義される境界の上方に垂直方向に達する可能性をいう。

.2　PBa、PBf、PBp、PBs及びPBzは、11.7.3に定める船底損傷の可能性の表から一次補間法によつて決定する。

この場合において、

PBaは、損傷が$\frac{Xa}{L}$の位置から船尾で生ずる可能性をいう。

PBfは、損傷が$\frac{Xf}{L}$の位置から船首で生ずる可能性をいう。

PBpは、損傷がタンクの左舷側に生ずる可能性をいう。

PBsは、損傷がタンクの右舷側に生ずる可能性をいう。

PBzは、損傷がタンクの下方で生ずる可能性をいう。

区画室の境界Xa、Xf、yp、ys及びzは、次のとおり定める。

Xa及びXfは、11.6.2に定義するものとする。

ypは、水線dB又はその下方に位置する区画室における最も左舷側の点から船舶の中央線の左舷側の$\frac{BB}{2}$メートルに位置する直面までの横方向の距離をいう。

ysは、水線dB又はその下方に位置する区画室における最も右舷側の点から船舶の中央線の右舷側の$\frac{BB}{2}$メートルに位置する直面までの横方向の距離をいう。

zは、任意の縦方向の位置においてzが縦方向の位置における船底外板の最も低い地点から区画室の最も低い地点までの垂直距離であるときは、区画室の長さを超えるzの最小値をいう。